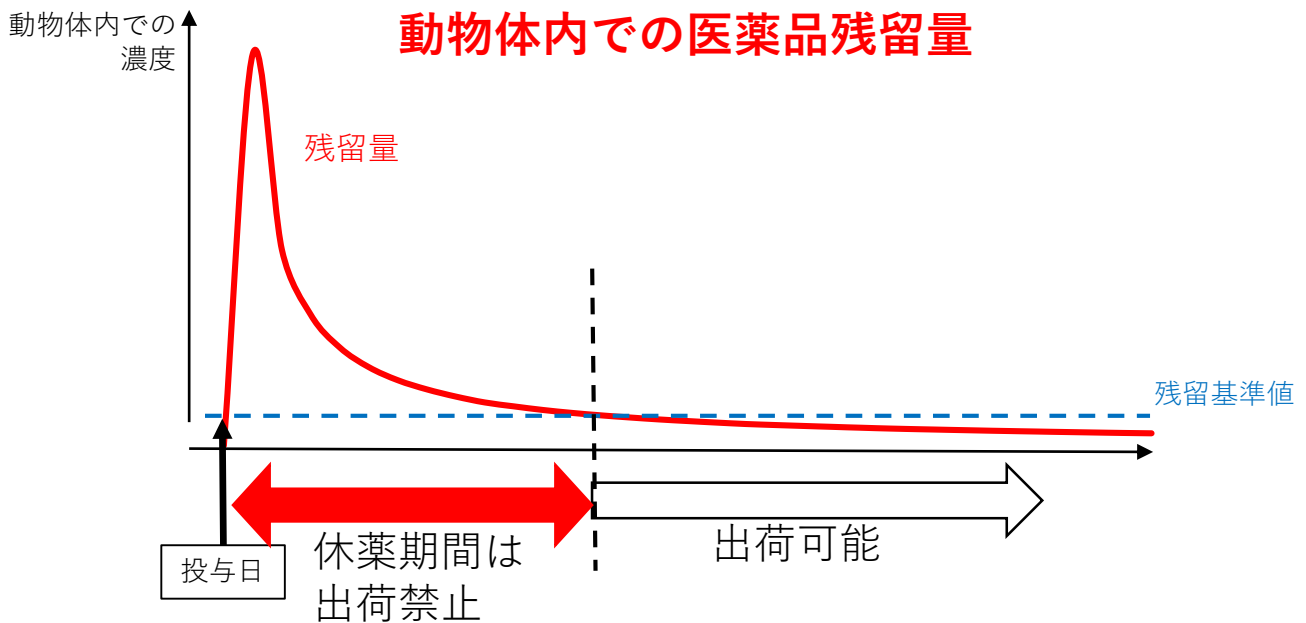




抗菌剤は正しく使用しましょう

抗菌剤は、使用方法、使用量、休薬期間を守って使用しなければいけません。

出荷した生乳・肉・卵に残留基準値以上に残留した場合に、回収・廃棄対象となります。



薬剤耐性菌が食品を介して人に感染した場合、人の治療に使用する抗菌剤が効かなくなる可能性があります。

コロナ禍のなか薬剤耐性菌がまん延しないよう、有効な抗菌剤を最小限の期間で使用しましょう。

対策についてご相談がございましたら、以下までお問い合わせ下さい。

岐阜県中央家畜保健衛生所

TEL : 058-201-0530

〒501-1112 岐阜市柳戸1-1

FAX : 058-201-0531



抗菌薬の歴史の1世紀



1928年

フレミング博士が
抗菌薬ペニシリンを発見



1940年代

多くの感染症患者を救う一方
耐性菌が出現



1960年代

抗菌薬を開発・発売しても
次々と耐性菌が出現



現在まで

抗菌薬の不適切な使用等により
世界各地に耐性菌が拡大

みんなで取り組もう 薬剤耐性問題

of the people, by the people, for the people.

20世紀の偉大な発見・抗菌薬を人類共通の財産として、繋いでいくために。

薬剤耐性問題の克服には、国、医療関係者・患者、さらには人と動物の垣根を超えた

“One Health”のアクションが求められています。

“One Health”のアクション

「あきらめない」



耐性菌に有効な新薬の開発

「生みださない」



抗菌薬の適正使用の徹底

「見逃さない」



耐性菌の継続的な監視

「共に取り組む」



世界規模で薬剤耐性問題に論議・貢献